

実施報告書

令和 7年度「校庭芝生化地域連携事業」実施報告書

区市町村名 多摩市

学校名 多摩市立南鶴牧小学校

1 事業目的 協議会名 南鶴牧小学校グリーンネットワーク委員会

オリンピック・パラリンピック教育レガシーアワード校として、南鶴牧小学校の学校2020レガシーであるボランティアマインドを醸成し、自助・共助の気運を高め、地域の教育力向上を目指すために、校庭芝生の維持管理や地域に愛される芝生化校庭を担う中心としての南鶴牧小グリーンネットワークのさらなる活性化を目指すとともに、子どもが体を動かす喜びを味わえる環境を整備していくことを目指す。

2 主な取組と成果

昨年度に引き続き、TOKYO2020レガシーへの取組として、地域・保護者・児童のボランティアマインドの醸成を図り、校庭芝生の維持管理作業への参加者増をねらい、協議会ブログ、本校ホームページ、学校だより及び学級だより、本校PTAよりのメール配信、そして本校連絡システムを最大限に活用し広報活動を行った。これにより地域・保護者と連携した芝生維持管理作業は4月から12月までに回実施、延べ1972名の地域。保護者・児童及び教職員の参加があった。昨年度より参加が始まった近隣保育園・本校学童に加え、今年度は本校合唱団や本校卒業生の参加が見られた。また、本校6年生児童が、総合的な学習の時間にて芝生の校庭と地域のつながりについて調査を行ったことから、芝生維持管理作業への参加に主体的に加わり、昨年度比210%程増加したことも大きな変化である。

芝生校庭の維持管理は、芝生維持管理団体である本協議会(南鶴牧小グリーンネットワーク)のリーダーシップの下、適切な管理を継続することができた。ここ数年秋の期間が短く、寒暖差が急激に大きくなることから、冬芝発芽直後にシートによる保温保湿による養生を行うことを来年度以降の課題とした。

3 取組内容

1、芝生管理作業 実施日 3月中旬～12月上旬 毎週土曜日 各回1時間程度

対象者 南鶴牧小グリーンネットワーク委員会 南鶴牧小おやじの会 鶴牧SC 鶴牧ボーイズ
南鶴牧小父母と教師の会 南鶴牧小教職員 南鶴牧小児童

主な活動 校庭芝生の芝刈り、雑草抜き等の管理作業

活動の成果 リーダーも作業する方も一部の方の負担が大きくなることを避けながら芝生維持管理作業を続けていくシステムをつくり上げている。手押しの芝刈り機を多くの方で交代しながら作業する方式をとることで、協力する気持ちが高まり、共生・共助社会を形成していくことに一役買っている。(参加者:地域・保護者・児童・学校、延べ1972名)

2、芝生開放デー 実施日6月21日(土)・8月23日(土) 児童等180名参加

対象者 南鶴牧小児童 近隣保育園幼稚園小学校の園児・児童

内容 本校おやじの会と南鶴牧小グリーンネットワーク委員会主催による芝生の校庭開放イベント例年、ドッジボール大会と水遊び大会を行ってきたが、6月初旬より夏日が続いたことから、今年度も2回とも水遊び大会とした。水鉄砲や散水ホースや簡易スプリンクラーを用いて、本校児童だけでなく、地域の未就学児や保護者などが、水遊びを楽しんだ。また、8月は夕涼み会として18時から2時間程度校庭を地域に開放する試みを行った。

成果 日中の水遊びには、保護者の参加も増え、多くの家庭が親子関係なく水遊びを行う中で家庭間の交流の場にもなった。また、学童児童も管理作業に参加する機会となり、学童ではできない活動を行える場となった。学童指導員も大変喜んでいて。

夕涼みへの参加者は少なかったが、これは周知の徹底が遅くなったことが要因として考えられる。主催したおやじの会により、今年度の運営の反省点が挙げられたので、来年度はおやじの会の要望を踏まえより良い取組にしていきたい。

4 今後について

昨年度販売した芝生Tシャツを購入希望の声が予想通り上がっている。来年度はTシャツのデザインを児童による公募にすることで、児童だけでなく保護者地域へも広げていけることを期待している。また、本校の総合的な学習の時間の指導計画を見直し、本校芝生の校庭を活用した地域の活性化への取組もスタートしている。本校芝生応援キャラクター「しばちゅん」を地域コミュニティの中心的存在として活用できないかという児童の思いも大きくなっている。これまでのように芝生の校庭を紹介するだけでなく、地域の方に利活用してもらえるような取組を行っていきたい。

